

別紙 指導と評価の計画

単元の目標		知識及び技能														
		バスケットボールについて、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、(体力の高め方、)(課題解決の方法)、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。														
単元の目標		思考力、判断力、表現力等														
		生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。														
単元の目標		学びに向かう力、人間性等														
		球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、(一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとする事、)(互いに助け合い高め合おうとする事などや、)(健康・安全を確保すること)ができるようにする。														
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	授業づくりのポイント	
学習の流れ	0	健康観察・本時のねらいの確認・準備運動														<ul style="list-style-type: none"> ・三つの資質・能力の内容をバランス良く指導する。 ・動きの獲得を通して知識の大切さを一層実感できるようにする。 ・汎用性のある知識を精選した上で、知識の学習を基盤とした学習の充実を図る。 ・練習やゲームでは、即時にアドバイスをしあうことができるようにし、学習の振り返りで質を高めていく。 ・仲間への助言や安全に留意する意義などの理解と具体的な取り組み方を結びつけ指導する。
	10	オリエンテーション	コーディネーショントレーニング	小テスト	コーディネーショントレーニング	小テスト	コーディネーショントレーニング	小テスト	コーディネーショントレーニング	小テスト	コーディネーショントレーニング	小テスト	コーディネーショントレーニング	小テスト	コーディネーショントレーニング	
	20	試合の始め方		3秒ルールを活用したゲームと審判法		8秒ルールを活用したゲームと審判法		バックパスルールを活用したゲームと審判法		課題ゲームと審判法の実際		リーグ戦・単元のまとめ				
	30	パスの4方向														
	40	ボール慣れ														
	45	整理運動・学習の振り返り・次時の確認														
評価機会	知識				①									②		小テスト・学習カード・観察 観察 観察・学習カード 観察
	技能			①										②		
	思・判・表						①							②		
	態度					②		③						④	①	
単元の評価規準	知識	①局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて、学習した具体例を挙げている。 ②競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。														
	技能	①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②シュートをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。														
	思・判・表	①チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。														
	態度	①球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②フェアなプレイを大切にしようとしている。 ③作戦を話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ④一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。														

本時の展開（9時間目/14時間）

<p>本時の目標</p>	<p>○協力した攻防の活動を通じて、体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を身に付けることができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】</p>	
<p>学習内容・学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>評価の観点・方法</p>
<p>導入 10分</p> <p>1. 本時の学習目標を知る。 この時間の取り組みの個人目標を作成する。</p> <p>2. 体ほぐし</p> <p>3. コーディネーショントレーニング</p>	<p>○本時の学習内容を明確にさせる。</p>	<p>協力したボール運びの活動を通じて、体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を身に付けることができる。</p>
<p>展開 30分</p> <p>4. 鬼ごっこ ○センターラインを捕まらないで通過する。</p> <p>5. 鬼ごっこ2 ○センターライン付近をパスで通過する ・体力や技能の程度を超えて、お互いを生かしながらパスで通過できるよう、グループで話合う。</p> <p>6. 課題ゲームと審判法</p>	<p>○バックパスルールを理解させ、コートサイドラインからサイドラインの広さを認識させる。</p> <p>○パスのための幅と深みの動きを理解させ、意識的に数的有利を作らせる。</p> <p>○センターラインをパスで通過する条件の中でゲームを行い、相互に審判を運営する。</p>	<p>○体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【思考・判断・表現】 <観察></p>
<p>まとめ 5分</p> <p>7. プレゼンテーション</p> <p>8. 片づけ</p> <p>9. 本時の振り返り</p>	<p>○チームでそれまでの授業と本時の活動の振り返りをグループで代表1人1分間プレゼンテーションさせ、シートに記入させる。</p> <p>○チームの活動の良かった点と改善点を明確にさせる。</p>	